

(別表 1)

事業継続力強化支援計画

事業継続力強化支援事業の目標

I 現状

当会を取り巻く地域の災害発生状況および想定される災害発生情報は、秩父市が策定した秩父市地域防災計画（令和2年度修正）、小鹿野町が策定した小鹿野町地域防災計画（令和元年度修正）やハザードマップ等を元に現状分析を行う。

(1) 地域の災害リスク

【埼玉県 秩父市吉田地区】

(洪水：ハザードマップ)

秩父市は、水防法による洪水予報河川に指定されている河川はなく、洪水浸水指定区域に指定されていない市町村であるため、洪水による浸水被害は想定されておらず、秩父市のハザードマップにあっても、秩父市吉田地区は浸水想定区域外にある。

(土砂災害：ハザードマップ)

秩父市のハザードマップによると、秩父市内全域に多くの土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が指定されている。秩父市吉田地区にあっても同様に、土砂災害特別警戒区域が比較的多い上吉田、吉田石間、吉田阿熊地域などの山峡地区を中心として、吉田地区には商工業者が点在しており、事業継続にあたって備えが必要と想定される。

(地震 J SHIS 及び秩父市地域防災計画)

地震ハザードステーションの防災地図によると、震度6弱以上の地震が今後30年間で、6%以上の確率で発生すると言われている。

埼玉県が想定した5つの地震による秩父市の被害想定結果は、次のとおりである。5つの地震のなかで「東京湾北部地震」「茨城県南部地震」及び「元禄型関東地震」では、帰宅困難者が発生するものの、それ以外の項目では、被害の発生はないと予測されている。

「立川断層帯地震」では、火災被害、停電、下水道被害及び避難者・帰宅困難者が発生するものの、建物被害、死傷者や発生は無いと予想されている。

秩父市において、最も被害の発生が予想されるのは、「関東平野北西縁断層帯地震」で、人的被害が死者1人、負傷者20人、建物被害が全壊8棟、半壊129棟、焼失44棟、避難者数は1ヵ月後までに179人、帰宅困難者も多数発生、ライフライン被害は、停電人口555人、断水人口686人、下水道の機能障害人口が5,619人と予測されている。秩父市吉田地区では、震度5強が広域な区域で想定されている。上吉田、吉田石間、吉田阿熊地域などの山あいの集落には、建築年代不明の老朽化した空き家が点在しており、倒壊の恐れがある。



(その他)

水害：吉田地区内を流れる吉田川流域では、上流域には合角ダムもあり、今まで大きな水害はないが、同じく隣町の小鹿野町を上流域とする赤平川流域にあつては、令和元年10月の台風19号発生時、秩父市下吉田・暮坪地区において河川増水による浸水被害があつた。このように近年の地球温暖化による気候変動によって起きる大雨による洪水等の被害のリスクが高まりを見せている。

雪害：平成26年2月14～15日にかけて、急速に発達した低気圧の影響により、秩父市では、観測史上最大となる98cmの積雪を記録し、家屋の一部損壊を始め、幹線道路の積雪による交通混乱も生じた。

※年間平均降雪量（10年間）は、1月から3月を中心に10センチ弱がほとんどである。

令和元年の台風第19号において大雨、土砂流出の被害を及ぼした。この台風による人的被害はなかったものの、吉田暮坪地区では、洪水により全壊世帯の被害が発生した。

また、秩父市は内陸部（秩父盆地）に位置している影響もあり、夏は猛暑日になることも多い。火災：市域の87%を森林が占めており、山林火災による大規模火災のおそれがある。また、過去、旧吉田町において大火災が発生したこともある。1957年（昭和32年）2月17日に、旧吉田町において大火災が発生した。上町から出火した火災で、商店街55世帯112棟を全焼し、災害救助法の適用を受けた。

### （感染症）

新型インフルエンザは、10年から40年の周期で出現し、世界的に大きな流行を繰り返している。また、新型コロナウイルス感染症にあっては、国民の大部分が免疫を獲得しておらず、2020年4月以降国内で感染者が急拡大し、大きな社会問題となっている。秩父市にあっては2021年11月10日現在累計466名の陽性を確認している。現在ワクチン接種の影響により新規感染者数・重症者は減少傾向であるが、今後も市民生活に大きな影響を及ぼす可能性もあるため、引き続き感染防止対策を継続して行っていく必要がある。

### 【埼玉県 小鹿野町】

#### （洪水：ハザードマップ）

小鹿野町は、水防法による洪水予報河川に指定されている河川はなく、洪水浸水指定区域に指定されていない市町村であるため、ハザードマップにおいても浸水想定区域外にあり、洪水による浸水被害は想定されていない。

#### （土砂災害：ハザードマップ）

小鹿野町のハザードマップによると、山が急峻で河川が河岸段丘若しくはV字渓谷の箇所が多くあることから、土石流、がけ崩れ、地すべり等の災害の危険にさらされている。小鹿野町全域に多くの土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が指定されている。土砂災害特別警戒区域が比較的多い小鹿野町両神地区・三田川地区などの山峡地区を中心として、全域に商工業者が点在しており、事業継続にあって備えが必要と想定される。

#### （地震 J SHIS 及び小鹿野町地域防災計画）

地震ハザードステーションの防災地図によると、震度6弱以上の地震が今後30年間で、6%以上の確率で発生すると言われている。

埼玉県が想定した5つの地震による小鹿野町の被害想定結果は、次のとおりである。5つの地震のなかで「東京湾北部地震」「茨城県南部地震」「元禄型関東地震」「立川断層帯地震」では、帰宅困難者が発生するものの、それ以外の項目では、被害の発生はないと予測されている。

小鹿野町において、最も被害の発生が予想されるのは、

「関東平野北西縁断層帯地震」である。建物の想定被害は以下表のとおり。



項目	予測内容	破壊開始点北	破壊開始点中央	破壊開始点南
建物	全壊数	1	1	1
	半壊数	10	15	17

また、小鹿野町の地域防災計画では、「関東平野北西縁断層帯地震」による建物以外の被害は、季節・時刻による社会的な条件の違いや気象の条件の違いによって変わってくるため、以下のケースを設定して、予測を行っている。

#### 1 季節・時刻3ケース

・夏12時—大多数の人が通勤先・通学先に移動しており、日中の平均的なケース

- ・冬・5時－大多数の人が住宅におり、住宅による死傷者が最も多くなるケース
- ・冬18時－火気の使用が一年中で最も多く、火災の被害が最も多くなるケース

## 2 風速2ケース

- ・3m/s－平均的な風速のケース
- ・8m/s－強風のケース

以上条件により「関東平野北西縁断層帯地震」の被害想定をまとめた表が以下のとおりである。

項目	予測内容	ケース	風速	破壊開始点北	破壊開始点中央	破壊開始点南
火災	焼失棟数	冬5時	3m/S	0	0	0
			8m/S	0	0	0
		夏12時	3m/S	0	0	0
			8m/S	0	0	0
		冬18時	3m/S	0	1	1
			8m/S	0	1	1
人的被害	死者数(人)	冬5時	3m/S	0	0	0
			8m/S	0	0	0
		夏12時	3m/S	0	0	0
			8m/S	0	0	0
		冬18時	3m/S	0	0	0
			8m/S	0	0	0
	負傷者数(人)	冬5時	3m/S	2	3	3
			8m/S	2	3	3
		夏12時	3m/S	1	2	3
			8m/S	1	2	3
		冬18時	3m/S	1	2	3
			8m/S	1	2	3
生活支障	避難所避難者数1日後(人)	冬18時	3m/S	2	3	3
			8m/S	2	3	3
	避難所避難者数1週間後(人)	冬18時	3m/S	2	3	3
			8m/S	2	3	3
	避難所避難者数1ヵ月後(人)	冬18時	3m/S	1	2	2
		冬18時	8m/S	1	2	2
	帰宅困難者数(人)	夏12時	—	875	875	875
電力	電柱被害数(本)	冬18時	3m/S	0	0	0
			8m/S	0	1	0
	停電世帯	冬18時	3m/S	2	4	2

	数 1 日後 (世帯)		8m/S	2	4	2
上水道	断水世帯 数 1 日後	-	-	3	1	1

以上の表によれば、地震後の火災による焼失・人的被害（死者）にあつては、ほとんど被害がないが、人的被害（負傷者）のほか、生活支障（避難所避難者・帰宅困難者）の発生、ライフラインにあつては、電力（電柱の倒壊、停電世帯の発生）・上水道（断水）が少数発生するものと想定されている。小鹿野町では、震度 5 強が広域な区域で想定されている。秩父市同様、山あいの集落には、建築年代不明の老朽化した空き家が点在しており、倒壊の恐れがある。

### （その他）

水害：小鹿野町全域を流れる赤平川流域では、平成 11 年 8 月 13 日熱帯性低気圧の影響による集中豪雨によって、町内河川の増水・氾濫のほか土砂災害が発生した。近年の地球温暖化による気候変動によって起きる大雨による内水氾濫被害のリスクが高まりを見せている。

雪害：2014 年(平成 26 年)2 月 14～15 日にかけて、急速に発達した低気圧の影響により、隣接している秩父市では、観測史上最大となる 98cm の積雪を記録し、小鹿野町も同様に家屋の一部損壊やカーポートの損壊を始め、孤立集落の発生や給水不能に陥る地域も発生した他、幹線道路の積雪による交通混乱も生じた。

※年間平均降雪量（10 年間）は、秩父市と同様。

火災：町域の 83%を森林が占めており、山林火災による大規模火災のおそれがある。

また、過去、大規模火災としては、平成 12 年 2 月 17 日 23 時 30 分頃、日尾の父不見山付近で山林火災が発生した。翌 18 日 14 時に 小鹿野町災害対策本部を設置、陸上自衛隊の災害派遣を要請、近県の防災航空隊・消防団の協力を得て消火活動にあたり、22 日 14 時に鎮火。焼失面積：約 35.9ha（埼玉県分約 34.4ha、群馬県分約 1.5ha）

また、小鹿野町も秩父市同様、内陸部（秩父盆地）に位置している影響もあり、夏は猛暑日になることも多い。

令和元年の台風第 19 号において大雨、土砂流出の被害を及ぼした。この台風による人的被害はなかったものの、町内の一部では、一部浸水・停電や断水に見舞われるなどの被害を受けた。

### （感染症）

新型インフルエンザは、10 年から 40 年の周期で出現し、世界的に大きな流行を繰り返している。また、新型コロナウイルス感染症にあつては、国民の大部分が免疫を獲得しておらず、2020 年 4 月以降国内で感染者が急拡大し、大きな社会問題となっている。小鹿野町にあつては 2021 年 11 月 10 日現在累計 37 名の陽性者を確認している。現在ワクチン接種の影響により新規感染者数・重症者は減少傾向であるが、今後も町民生活に大きな影響を及ぼす可能性もあるため、引き続き感染防止対策を継続して行っていく必要がある。

## （2）商工業者の 状況

### 【西秩父地区の商工業者数・小規模事業者数】

- ・商工業者数 小規模事業者数は 事業所統計により以下の通りである。  
平成 28 年度事業所統計 748 事業所（うち小規模事業者数 646 事業所）

## （3）これまでの取組

### 1) 地方公共団体の取組

#### ①秩父市の取組

- ・地域防災計画の策定、防災訓練の実施、
- ・防災備品の備蓄
- ・土砂災害ハザードマップの策定

#### ②小鹿野町の取組

- ・地域防災計画の策定、防災訓練の実施
- ・防災備品の備蓄
- ・土砂災害ハザードマップの策定

## 2) 西秩父商工会の取組

- ・事業者 BCP に関する国の施策の周知
- ・災害保険（埼玉県火災共済共同組合）の周知及び加入促進
- ・東京海上日動火災保険株式会社 と連携した 損害保険（ビジネス総合保険）への加入促進

※「秩父市地域防災計画」では、災害時に商工会議所等商工業関係団体の「業務の大綱」として、以下の業務を行うことが定められている。

- ・秩父市が行う商工業関係被害、融資希望者のとりまとめ、斡旋などの協力に関すること。
- ・災害時における物価安定についての協力に関すること。
- ・救援物資、復旧資材の確保についての協力、斡旋に関すること。

※「小鹿野町地域防災計画」では、災害時に西秩父商工会の「協力業務」として、以下の業務を行うことが定められている。

- ・小鹿野町が行う商工業関係被害調査、融資希望者の取りまとめ、斡旋等の協力に関すること
- ・災害時における物価安定についての協力に関すること。
- ・救援用物資、復旧資材の確保についての協力、斡旋に関すること。

## II 課題

現状では、秩父市と西秩父商工会、小鹿野町と西秩父商工会の緊急時の取組について 漠然的な記載にとどまり、具体的な協力体制やマニュアルが整備されていない。加えて、平時・緊急時の対応を推進するノウハウをもった人員が十分にいない。

更には、損害保険・災害共済に対する助言を行える当会経営指導員等職員が不足している、といった課題が浮き彫りになっている。

また、感染症対策において、地区内小規模事業者に対して予防接種の推奨や手洗いの徹底、体調不良者を出社させないルール作りや、感染拡大時に備えて マスクや消毒液等の衛生品の備蓄、リスクファイナンス対策として保険の必要性を周知するなどが必要である。

## III 目標

- ・地区内小規模事業者に対し、災害リスクを認識させ、事前対策の必要性を周知する。
- ・発災時における連絡を円滑に行うため、西秩父商工会と秩父市と小鹿野町との間における被害情報報告ルートを構築する。
- ・発災後速やかな復興支援策が行えるよう域内において 感染症発生時（感染症は「発生」というタイミングがありません。「海外発生期」、「国内感染者発生期」、「国内感染拡大期」、「社内感染者発生期」と細分化しておくことも有用。）には速やかに拡大防止措置を行えるよう、組織内における体制、関係機関との連携体制を平時から構築する。

※ その他

- ・上記内容に変更が生じた場合は、速やかに埼玉県へ報告する。

## 事業継続力強化支援事業の内容及び実施期間

### (1) 事業継続力強化支援事業の実施期間（令和4年4月1日～令和9年3月31日）

#### (2) 事業継続力強化支援事業の内容

- ・西秩父商工会と秩父市・小鹿野町の役割分担、体制を整理し、連携して以下の事業を実施する。

#### < 1. 事前の対策 >

##### 1) 小規模事業者に対する 災害リスクの周知

- ・巡回経営指導時に、秩父市・小鹿野町のハザードマップ等を用いながら、事業所立地場所の自然災害等のリスク及びその影響を軽減するための取組や対策（事業休業への備え、水災補償等の損害保険・共済加入等）について説明する。
- ・商工会会報、ホームページ、メール配信や定期的な配布物等において、国の施策の紹介や、リスク対策の必要性、損害保険の概要、事業者BCPに積極的に取り組む小規模事業者の紹介等を行う。
- ・小規模事業者に対し、事業者BCP（即時に取組可能な簡易的なもの含む）の策定による実効性のある取組の推進や、効果的な訓練等について指導及び助言を行う。
- ・事業継続の取組に関する専門家を招き、小規模事業者に対する普及啓発セミナーや行政の施策の紹介、損害保険の紹介等を実施する。
- ・新型ウイルス感染症は、いつでも、どこでも発生する可能性があり、感染の状況も日々変化するため、事業者には常に最新の正しい情報を入手し、デマに惑わされることなく、冷静に対応することを周知する。
- ・新型ウイルス感染症に関しては業種別ガイドラインに基づき、感染拡大防止策等について事業者への周知を行うとともに、今後の感染症対策に繋がる支援を実施する。
- ・事業者へ、マスクや消毒液等の一定量の備蓄、オフィス内換気設備の設置、ITやテレワーク環境を整備するための情報や支援策等を提供する。

##### 2) 商工会、商工会議所自身の事業継続計画の作成

- ・令和4年度末までに作成。

##### 3) 関係団体等との連携

- ・連携協定を結ぶ東京海上日動火災保険株式会社に専門家の派遣を依頼し、会員事業者以外も対象とした普及啓発セミナーや損害保険の紹介等を実施する。
- ・感染症に関しては、収束時期が予測しづらいこともあり、リスクファイナンス対策として各種保険（生命保険や障害保険、感染症特約付き休業補償など）の紹介等も実施する。
- ・関係機関への普及啓発ポスター掲示、セミナー等の共催。

##### 4) フォローアップ

- ・小規模事業者の事業者BCP等取組状況の確認。
- ・（仮称）西秩父事業継続力強化支援協議会（構成員：西秩父商工会経営指導員、秩父市吉田総合支所地域振興課担当者、小鹿野町産業振興課担当者）を設置のうえ、年1回開催し、状況確認や改善点等について協議する。

##### 5) 当該計画に係る訓練の実施

- ・自然災害（マグニチュード5の地震）が発生したと仮定し、秩父市、小鹿野町との連絡ルートの確認等を行う（訓練は必要に応じて実施する）。

#### < 2. 発災後の対策 >

・自然災害等による発災時には、人命救助が第一であることは言うまでもない。そのうえで、下記の手順で、地区内の被害の被害状況を把握し関係機関へ連絡する。

### 1) 応急対策の実施可否の確認

- ・発災後 2 時間以内に西秩父商工会職員は安否報告を西秩父商工会へ行う。  
(SNS等を利用した安否確認や業務従事の可否とともに、確認できる範囲での大まかな被害状況(家屋被害や道路状況等)等を確認、把握する。)
- ・役職員間については、埼玉県商工会連合会が導入をしている「LINE WORKS」を活用し、安否確認及び被害状況を把握し、西秩父商工会と、秩父市、小鹿野町で情報を共有する。
- ・感染症流行や、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 32 条に基づき、政府による「緊急事態宣言」が出た場合は、秩父市及び小鹿野町における感染症対策本部設置があった場合は、対策本部設置に基づき、西秩父商工会による感染症対策を行う。

### 2) 応急対策の方針決定

- ・西秩父商工会と秩父市及び小鹿野町との間で、被害状況や被害規模に応じた応急対策の方針を決める。(西秩父商工会と秩父市・小鹿野町との連絡調整による)
- ・職員全員が被災する等により応急対策ができない場合の役割分担を決める。
- ・町内の大まかな被害状況を確認し、2 日以内に情報共有する。

(例：被害規模の目安は以下を想定)

大規模な被害がある	管内 10% 程度の事業所で、「瓦が飛ぶ」、「窓ガラスが割れる」等、比較的軽微な被害が発生している。 ・管内 1% 程度の事業所で、「床上浸水」、「建物の全壊・半壊」等、大きな被害が発生している。 ・被害が見込まれる地域において連絡が取れない、もしくは、交通網が遮断されており、確認ができない。
被害がある	・管内 1% 程度の事業所で、「瓦が飛ぶ」、「窓ガラスが割れる」等、比較的軽微な被害が発生している。 ・管内 0.1% 程度の事業所で、「床上浸水」、「建物の全壊・半壊」等、大きな被害が発生している。
ほぼ被害はない	・目立った被害の情報がない。

※なお、連絡が取れない区域については、大規模な被害が生じているものとする。

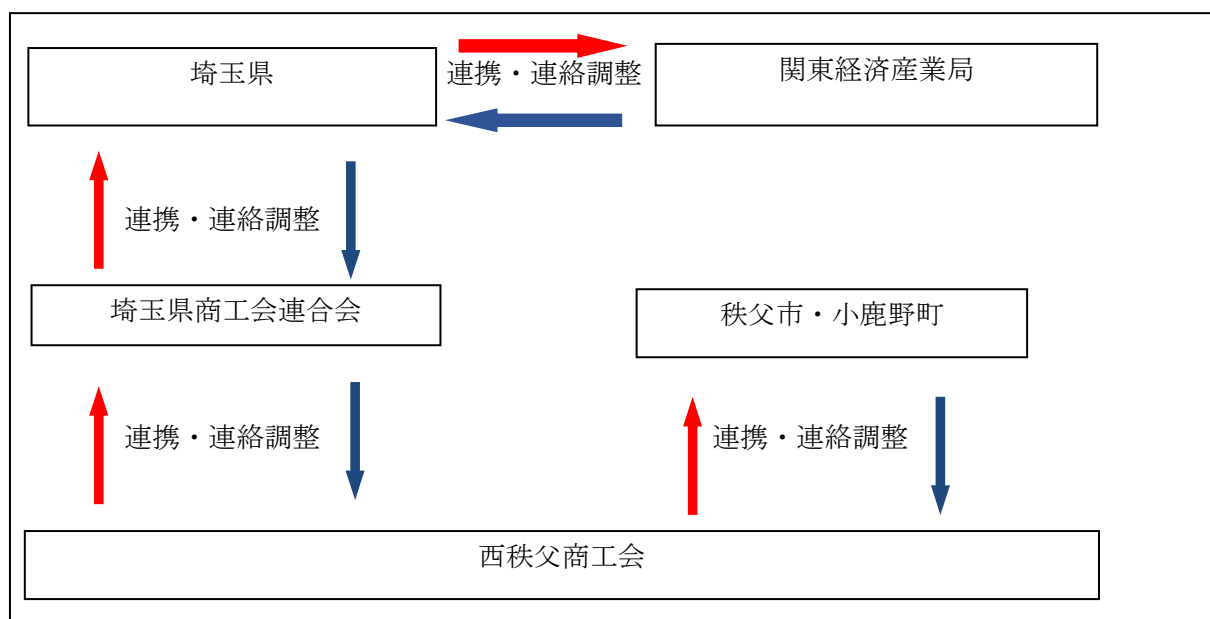
・本計画により、西秩父商工会と秩父市及び小鹿野町は 以下の間隔で被害情報等を共有する。

発災後～1 週間	1 日に 2 回共有する
1 週間～2 週間	1 日に 1 回共有する
2 週間～1 ヶ月	2 日に 1 回共有する
1 ヶ月以降	1 週間に 1 回共有する

・秩父市で策定した「秩父市新型インフルエンザ等対策行動計画」(H26.11)並びに小鹿野町で策定した「小鹿野町新型インフルエンザ等対策行動計画」(H26.11)を踏まえ、必要な情報の把握と発信を行うとともに、交代勤務を導入する等体制維持に向けた対策を実施する。

### 〈3. 発災時における 指示命令系統・連絡体制〉

- ・ 自然災害等発生時に、地区内の小規模事業者の被害情報の迅速な報告及び指揮命令を円滑に行うことができる仕組みを構築する。
- ・ 二次被害を防止するため、被災地域での活動を行うことについて決める。
- ・ 西秩父商工会と秩父市、小鹿野町は、被害状況の確認方法や被害額（合計、建物、設備、商品等）の算定方法について、あらかじめ確認しておく。
- ・ 西秩父商工会と秩父市、小鹿野町が共有した被害情報を埼玉県が指定する方法にて西秩父商工会又は秩父市、小鹿野町より埼玉県商工会連合会を通じて埼玉県に報告する。
- ・ 感染症流行の場合、国や都道府県等からの情報や方針に基づき、当会と当市が共有した情報を埼玉県の指定する方法にて西秩父商工会又は秩父市、小鹿野町より埼玉県へ報告する。



### 〈4. 応急対策時の地区内小規模事業者に対する支援〉

- ・ 相談窓口の開設方法について、秩父市及び小鹿野町と相談する（西秩父商工会は、国の依頼を受けた場合は、特別相談窓口を設置する）。
- ・ 安全性が確認された場所において、相談窓口を設置する。
- ・ 地区内小規模事業者等の被害状況の詳細を確認する。
- ・ 応急時に有効な被災事業者施策（国や都道府県、市町村等の施策）について、地区内小規模事業者等へ周知する。
- ・ 感染症の場合、事業活動に影響を受ける、またはその恐れがある小規模事業者を対象とした支援策や相談窓口の開設等を行う。

### 〈5. 地区内小規模事業者に対する復興支援〉

- ・ 埼玉県の方針に従って、復旧・復興支援の方針を決め、被災小規模事業者に対し支援を行う。
- ・ 被害規模が大きく、被災地の職員だけでは対応が困難な場合には、他の地域からの応援派遣等を埼玉県等に相談する。

#### ※ その他

- ・ 上記内容に変更が生じた場合は、速やかに埼玉県へ報告する。



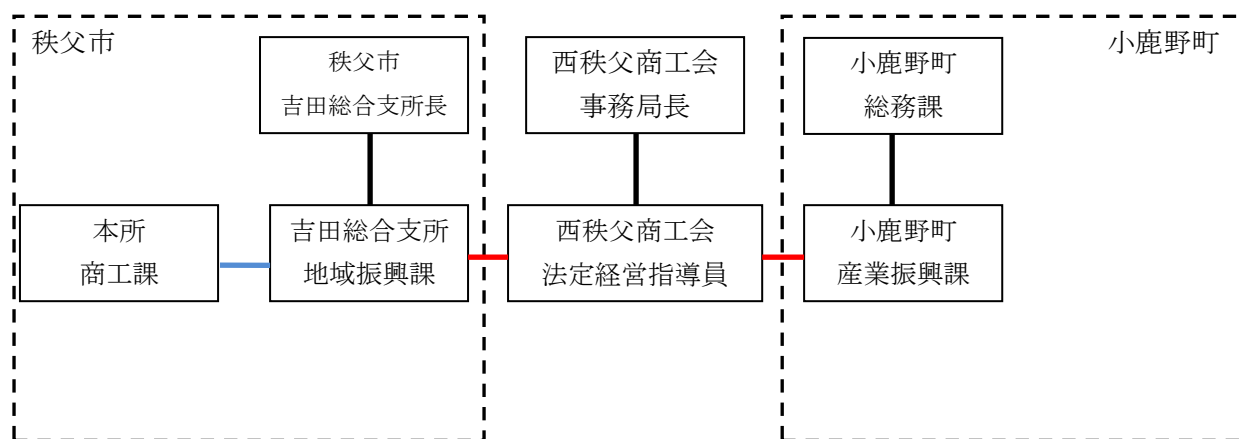
(別表2)

事業継続力強化支援事業の実施体制

事業継続力強化支援事業の実施体制

(令和3年11月現在)

(1) 実施体制(商工会又は商工会議所の事業継続力強化支援事業実施に係る体制/関係市町村の事業継続力強化支援事業実施に係る体制/商工会又は商工会議所と関係市町村の共同体制/経営指導員の関与体制等)



— 連携・連絡調整  
— 確認・連携

(2) 商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律第5条第5項に規定する経営指導員による情報の提供及び助言に係る実施体制

①当該経営指導員の氏名、連絡先

経営指導員 加藤 憲司 (連絡先は後述(3)1参照)

経営指導員 中村 昭生 (連絡先は後述(3)1参照)

経営指導員 金子 亮太 (連絡先は後述(3)1参照)

②当該経営指導員による情報の提供及び助言(手段、頻度等)

※以下に関する必要な情報の提供及び助言等を行う

・本計画の具体的な取組の企画や実行

・本計画に基づく進捗確認、見直し等 フォローアップ(1年に1回以上)

(3) 商工会/商工会議所、関係市町村連絡先

①商工会/商工会議所

西秩父商工会

〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野298番地1

TEL: 0494-75-1381 FAX: 0494-75-1382

E-mail: info@nishichichibu.or.jp

②関係市町村

(秩父市)

秩父市吉田総合支所 地域振興課

〒369-1592 埼玉県秩父市下吉田6585番地2

TEL: 0494-72-6083 FAX: 0494-77-1529

E-mail: ys-chiiki@city.chichibu.lg.jp

(小鹿野町)

小鹿野町 総務課

〒368-0192 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地

TEL : 0494-75-1221 FAX : 0494-75-2819

E-mail : somu@town.ogano.lg.jp

(別表3)

事業継続力強化支援事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

(単位 千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
必要な資金の額	190	190	190	190	190
・ 専門家派遣費	20	20	20	20	20
・ 協議会運営費	20	20	20	20	20
・ セミナー開催費	50	50	50	50	50
・ パンフ、チラシ 作製費	50	50	50	50	50
・ 通信費	50	50	50	50	50

(備考) 必要な資金の額については、見込み額を記載すること。

調達方法
会費収入、 小鹿野町補助金、埼玉県補助金、事業収入 等

(備考) 調達方法については、想定される調達方法を記載すること。

(別表4)

事業継続力強化支援計画を共同して作成する商工会又は商工会議所及び関係市町村以外の者を連携して事業継続力強化支援事業を実施する者とする場合の連携に関する事項

連携して事業を実施する者の氏名又は名称及び住所 並びに法人にあっては、その代表者の氏名
東京海上日動火災保険株式会社 代表者：取締役 社長 広瀬 伸一 住所：〒100-8050 東京都千代田区丸の内一丁目2番1号  (担当支社) (東京海上日動火災保険株式会社 熊谷支社 秩父事務所 秩父事務所長 岡宮 誠 住所：〒368-0033 埼玉県秩父市野坂町1-3-1 野坂ビル3階)
連携して実施する事業の内容
① ハザード情報のレポートの提供 ② 自然災害に関わる保険の見直し(事業休業の備え・水災補償など) ③ BCP普及セミナー、BCP策定支援、訓練セミナー等
連携して事業を実施する者の役割
① 地域事業所の所在地のハザード情報レポートを提供し、自然災害リスクについて周知活動を実施する。 ② 自然災害によって休業した場合の備えや水災補償についての既加入保険の点検を実施する。 ③ BCP策定支援、策定ワークショップなどを実施し、地域事業者へ普及活動を行う。
連携体制図等
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                     連携体制図                 </div> <pre>                     graph TD                         subgraph CC [商工会]                             CC1[取組状況の共有]                         end                         subgraph TI [東京海上日動火災保険(株)]                             TI1[取組状況の共有]                         end                         subgraph MS [小規模事業者]                             MS1[ハザード情報提供依頼]                             MS2[ハザード情報訴求チラシ案内]                             MS3[セミナー・ワークショップ開催案内]                             MS4[ハザード情報提供・自然災害に関する保険の見直し提案]                         end                         MS1 --&gt; CC                         CC1 --&gt; TI                         TI1 --&gt; MS4                         CC --&gt; MS2                         CC --&gt; MS3                 </pre> <p>ハザード情報提供依頼</p> <p>取組状況の共有</p> <p>ハザード情報訴求チラシ案内</p> <p>セミナー・ワークショップ開催案内</p> <p>ハザード情報提供・BCP策定ワークショップ等の提供</p> <p>ハザード情報提供・自然災害に関する保険の見直し提案 (経営指導員と同行など)</p> <p>参加</p> </div>